

活動報告

京都女子大学養護・福祉教育学会の設立について

2021年6月16日(水)に開催された設立総会において、京都女子大学養護・福祉教育学会(以下「学会」と略記)を新たに設立することが決議された。

本稿では、初年度となる2021年度の活動概要を報告する。

学会設立までの経緯

2021年3月10日(水)

学科・専攻会議(2020年度第20回)において、発起人3名(岩崎保之教授、大川尚子教授、鈴木依子教授)より学会設立の提案が会則(案)とともになされた。

2021年3月25日(木)

学科・専攻会議(2020年度第21回)において学会設立の方針が承認された。設立に向けた準備作業が紀要編集委員会に一任された。

2021年4月7日(水)

学科・専攻会議(2021年度第1回)において学会設立の方針が確認された。

2021年4月21日(水)

学科・専攻会議(2021年度第2回)において5月に設立総会を行うことが了承された。

2021年5月1日(土)

大川尚子学科・専攻主任より、竹安栄子学長に対して「『京都女子大学養護・福祉教育学会』の設立について」の願出が文書によってなされた。

2021年5月12日(水)

学科・専攻会議(2021年度第3回)において設立総会を6月に延期することが報告された。

2021年6月16日(水)

学科・専攻会議(2021年度第5回)終了後、設立総会が開催された。

設立総会

日時 2021年6月16日(水) 17:40~18:10

会場 オンライン(Zoom ミーティング)

出席者 井上文夫教授、岩崎保之教授、大川尚子教授、鈴木依子教授、下村雅昭教授、中村亜紀准教授、正野良幸講師、吉川直人助教

議事録

大川尚子教授が議長に選出され、議事が進められた。

(報告事項)

報告事項1 学会設立までの経緯

岩崎保之教授(学会設立準備委員会委員長、以下「準備委員長」)から資料に基づいて報告がなされた。

報告事項2 その他

特に発言はなかった。

(審議事項)

審議事項1 会則の制定

岩崎保之準備委員長から資料に基づいて以下の会則(案)が提案された。

京都女子大学養護・福祉教育学会会則(案)

(名称)

第1条 本会は、京都女子大学養護・福祉教育学会と称する。

(目的)

第2条 本会は、養護・福祉教育学の研究促進と会員相互の親睦を図ることを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、第2条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- 1 機関誌『養護・福祉教育学研究』の発行
- 2 学術集会、講演会、研究会等の開催
- 3 その他必要な事業

(会員)

第4条 本会は、京都女子大学発達教育学部教育学科養護・福祉教育学専攻及び京都女子大学家政学部生活福祉学科の専任教員並びに本会が特に認めた者をもって組織する。

(役員)

第5条 本会に次の役員を置く。

- 1 会長 1名
- 2 副会長 1名
- 3 幹事 若干名

第6条 会長、副会長及び幹事の選出は、会員の互選による。

第7条 役員任期は、1年間とする。ただし、重任を妨げない。

(委員会)

第8条 機関誌を発行するために、機関誌編集委員会を置く。委員は、会員の互選によることとし、任期は1年間とする。ただし、重任を妨げない。

(事務局)

第9条 本会の事務局は、京都女子大学発達教育学部教育学科養護・福祉教育学専攻研究室（京都府京都市東山区今熊野日吉町35番地）に置く。

(総会)

第10条 本会の総会は、1年に1回開催し、本会の重要事項を議決する。

第11条 会長は、特に必要と認めるときは、臨時に総会を開くことができる。

(会則の改廃)

第12条 この会則の改廃は、総会の議決を経て行う。

附則 この会則は、2021年6月16日より施行する。ただし、第3条第1号の規定は、2022年4月1日よりこれを施行する。

採決の結果、全員一致で承認された。

審議事項2 役員・委員の互選

岩崎保之準備委員長から会則第5条、第6条及び第7条に基づき以下の案が提案された。

会長 大川尚子会員

副会長 鈴木依子会員

幹事長 岩崎保之会員

幹事 正野良幸会員

採決の結果、全員一致で承認された。

なお、本審議事項に関連し、会則第4条に規定する「本会が特に認めた者」の認定基準や認定方法については、今後、役員において協議し決定するものとすることも併せて承認された。

審議事項3 事務局の設置

岩崎保之準備委員長から会則第9条に基づき、学会の事務局を岩崎保之研究室内に置く旨の提案がなされた。

採決の結果、全員一致で承認された。

審議事項4 2021年度活動計画

岩崎保之幹事から会則第3条に基づき、以下の案が提案された。

第1号 機関誌『養護・福祉教育学研究』の発行

- ・附則の規定により、今年度は発行しない。
- ・機関誌編集委員会（第8条）の活動として、生活福祉学科紀要編集委員会に対し『生活福祉学科紀要』第17号に学会記事の掲載を求める。

第2号 学術集会、講演会、研究会等の開催

- ・第1回学術集会を開催する。会長のもとに実行委員会を組織してその任に当たる。

- ・学科／専攻のFD活動に関連させて講演会を開催する。学科／専攻選出のFD推進委員がその任に当たる。
- ・上記以外の講演会や研究会等は、随時、会員が自発的に企画して開催する。その際、学会の名義使用に関して事前に会長の了承を得るものとする。

第3号 その他必要な事業

- ・学会ウェブサイトをGoogleドライブ上に開設・運営する。事務局がその任に当たる。
- 採決の結果、全員一致で承認された。

審議事項5 その他

岩崎保之会員から、第1回セミナーを開催した旨、資料に基づいて提案がなされた。

岩崎保之会員及び大川尚子会員から、現在、京都女子大学に申請中の「連携プロジェクト」について資料に基づき説明がなされた後、本プロジェクトを学会後援で実施したい旨、提案がなされた。

採決の結果、上記2点は全員一致で承認された。

会員数（会則第4条関係）

9人（内訳：教育学科養護・福祉教育学専攻専任教員4人、生活学科専任教員5人）※2022年2月現在

事業報告（会則第3条第2項関係）

第1回セミナー（学会主催）

テーマ 子どもと向き合う時間を増やしたい先生のためのICT活用セミナー

日時 2021年6月28日（月）18:00～19:30

会場 オンライン（Zoomミーティング）

対象 学会員及び一般（学校の教職員、教育関係者、学生など）

講師 中野裕己氏（新潟大学附属新潟小学校教諭）、増田素子氏（同校養護教諭）

参加者 約90人

進行 岩崎保之会員

主な内容

1. Google ツールの基本的な構成（中野氏）
2. デジタル健康観察の取組（増田氏）
3. ICTを活用した教育の基本的な考え方「従来と変わることに、変わらないこと」（中野氏）

第1回養護・福祉教育学講演会（学会共催）

テーマ 現代的健康課題を抱える子供たちの支援のための多職種連携について

主催 生活福祉学科、教育学科養護・福祉教育学専攻

日時 2021年11月3日（祝）13:00～15:00

会場 オンライン (Zoom ミーティング)
 対象 学会員及び一般 (学校の教職員, 教育関係者, 学生, 卒業生など)

講師 松崎美恵氏 (文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課健康教育調査官), 守山佳奈氏 (京都府健康福祉部主事), 尾野あずさ氏 (長野県阿智村立阿智第二小学校養護教諭)

参加者 約 120 人

進行 岩崎保之会員

主な内容

- 講演「現代的健康課題を抱える子供たちの支援のための多職種連携について」(松崎氏)
- 講演「子どもたちの支援のための多職種連携—児童相談所と学校との連携について—」(守山氏)
- 講演「子ども達の支援のための多職種連携について」(尾野氏)
- 卒業生・在校生の交流会

2021年度連携プロジェクト (学会後援)

テーマ 東山区住民の防災力向上支援プロジェクト

主催 岩崎保之教授 (代表), 大川尚子教授, 鈴木依子教授

参加者 有志学生 33 人 (生活福祉学科 4 回生 10 人, 教育学科養護・福祉教育学専攻 3 回生 23 人)

主な実績

- 救急法出前講座

日時 2021年5月27日(木) 15:40~16:40

会場 京都市立開晴小中学校

受講者 同校教職員 80 人

2. 防災講演会

日時 2021年10月20日(水) 15:00~16:00

会場 オンライン (Zoom ミーティング)

講師 中野雅嗣氏 (特定非営利活動法人ふるさと未来創造堂常務理事兼事務局長)

参加者 本学教職員・学生, 地域住民など約 60 人

3. 防災フェスタ

日時 2021年12月8日(水) 13:00~16:30

会場 T校舎

参加者 本学教職員・学生, 地域住民など約 50 人

FD 研修会 (学会後援)

テーマ ICT を活用した授業改善と自己学修支援の充実

主催 生活福祉学科/教育学科養護・福祉教育学専攻
FD 推進委員会

日時 2021年12月22日(水) 15:00~16:00

会場 T校舎 211 教室

講師 黒上晴夫氏 (関西大学総合情報学部教授)

参加者 本学教員・学生・研修員, 附属小学校教員など
約 20 人

以上